

事務事業名(細目)	保健体育一般管理事業	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10-06-01-001-01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】		事業開始年度	評価区分	評価
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	朝来市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21朝来市推進委員会を核として、市民が気軽にスポーツに親しめるための環境づくりを推進する。				
事業の受益者(直接的対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位	人
事業の実施内容等	社会体育の振興 ・スポーツ推進審議会(19名)の開催(年2回) ・朝来市スポーツ推進委員(27名)の活動 ・スポーツクラブ21朝来市推進委員会13名の開催(年1回) ・幼児期からの運動能力の向上とスポーツを通じた親子ふれあい運動遊びの開催(年2回) ・体力測定会(年2回)の開催 ・ジュニアスポーツ講演会の開催				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
1.報酬	1,467,500	スポーツ推進委員、スポーツ推進審議会委員報酬	1,575,500
8.報償費	366,000	体育委員報償、講師謝金	167,000
9.旅費	115,592	委員職員出張旅費、講師旅費	149,000
11.需用費	185,118	消耗品費、印刷費	197,208
19.負担金補助及び交付金	47,400	但馬スポーツ推進委員会負担金他	72,400
合計	2,181,610		2,161,108
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
一般財源	2,181,610		2,161,108
合計	2,181,610		2,161,108
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
1.報酬	スポーツ推進委員等報酬	1,350,000	1,350,000	1,575,500	1,467,500
8.報償費	体育委員報償、講師謝金	149,000	386,000	167,000	366,000
9.旅費	委員職員出張旅費、講師旅費	75,520	91,310	149,000	115,592
11.需用費	消耗品費、印刷費	222,150	470,523	197,208	185,118
12.役務費		0	40,352	0	0
19.負担金補助及び交付金	但馬スポーツ推進委員会負担金他	47,100	194,100	72,400	47,400
事業費計		1,843,770	2,532,285	2,161,108	2,181,610
【4】正規職員人件費		2,967,000	7,411,000	7,336,729	3,739,150
【5】臨時職員人件費		0	0	0	2,600
【6】総合計		4,810,770	9,943,285	9,497,837	5,923,360
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他			0	0
【11】一般財源		4,810,770	9,943,285	9,497,837	5,923,360
【12】合計		4,810,770	9,943,285	9,497,837	5,923,360
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
スポーツ推進委員主管行事等開催数	回	6	6	6	6
会議開催数	回	17	19	19	20
<変化の理由> 例年大きな変化はない。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
スポレク大会参加者数	人	169	146	180	204
<変化の理由> 大会が市民に浸透してきたことが参加者の増につながったと考えられる。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	スポーツクラブは基金が無いところもあり、活動をしていないところが出てきている。		
今後の方向性、見直し等	スポーツクラブは13あるクラブ組織の方向性を具体的に検討していく必要がある。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
スポレク大会参加者数	28,466	68,105	52,766	29,036

《変化の理由及びそれへの対応策》
参加者が増加傾向になっていることが要因と考えられる。今後も学校と連携を密にして大会の発展的な運営を行う。

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	スポーツクラブの各団体は継続運営に課題を抱えている。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	スポーツ推進委員はスポーツ基本法に基づき、サービスに大差はない。
【3】代替サービスの有無	無し

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	スポーツ推進委員は法に基づく委員であり、継続した取り組みが必要である。スポーツクラブは13あるクラブ組織の方向性を具体的に検討していく必要がある。朝来市スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法による審議を求められ、年1回以上は開催する必要がある。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会については、法に基づく設置であり、市のスポーツ振興・健康増進に寄与している。スポーツクラブ21は、組織的なことを含め、運営・事業等について、見直しが必要と思われる。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	内容の検討を行うこと。 スポーツクラブ21の現況について十分把握しておくこと。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	体育協会等支援事業	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10 - 06 - 01 - 003 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	評価
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	スポーツ団体等への活動補助を行い、スポーツ活動を促進し、市民の健康・体づくり、競技力の向上を図る			
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位 人
事業の実施内容等	朝来市体育協会・朝来市陸上競技協会への活動補助金の交付			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
19.負担金補助及び交付金	2,291,000	朝来市体育協会補助金	2,291,000
19.負担金補助及び交付金	180,000	朝来市陸上競技協会補助金	180,000
合計	2,471,000		2,471,000
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
一般財源	2,471,000		2,471,000
合計	2,471,000		2,471,000
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
19.負担金補助及び交付金	朝来市体育協会補助金	2,411,000	2,291,000	2,291,000	2,291,000
19.負担金補助及び交付金	朝来市陸上競技協会補助金	189,000	180,000	180,000	180,000
事業費計		2,600,000	2,471,000	2,471,000	2,471,000
【4】正規職員人件費		786,000	1,813,000	2,460,296	2,328,440
【5】臨時職員人件費		27,000	134,000	77,889	0
【6】総合計		3,413,000	4,418,000	5,009,185	4,799,440
財源内訳	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	3,413,000	4,418,000	5,009,185	4,799,440
【12】合計	3,413,000	4,418,000	5,009,185	4,799,440	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
加盟団体が自主運営で行う大会等の回数	回	28	28	30	27
朝来市体育協会加盟活動団体数	団体	38	36	39	35
<<変化の理由>> 4年間でほぼ横ばい状態にある。各種スポーツ大会等の開催状況において、加盟団体によって差があるため、各種団体の活発な活動に向けての対策が必要である。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
<<変化の理由>>					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	朝来市体育協会事業として毎年1月1日に本庁倉庫前で朝来市新春マラソン大会を開催しているが、要寮対応・スタッフの確保・地元住民の理解等、課題が困難になってきている。		
今後の方向性、見通し等	時期・場所の変更を含め、加盟団体及び他団体等とも協議し、時代のニーズにあったものへ検討していく。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
《変化の理由及びそれへの対応策》				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	郡市区対抗駅伝の結果を受け、駅伝やマラソンに力を入れるべきとの声があった。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	競技種目数等違いはあるが、サービス水準に大差はない。
【3】代替サービスの有無	無し

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	競技スポーツをリードする団体として活発な活動が期待される。若い年齢層の発掘や新しい競技スポーツの浸透などを求めたい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	各種スポーツ団体を育成・支援することにより、市民のスポーツ振興・健康増進の観点からも、必要な事業であり、今後も継続して実施することが望ましい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	実施事業の内容見直しを行うこと。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	社会体育事業(全市)	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10 - 06 - 01 - 005 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)		事業開始年度	評価区分	評価
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民が気軽にスポーツに参加し、スポーツを通じた交流が出来るように各種スポーツ大会、教室を実施する。				
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位	人
事業の実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・市長杯バレーボール大会 ・ソフトボール決勝大会 ・社年女子ソフトボール大会 ・軟式野球大会 ・ソフトボール交流大会 ・スポレク大会 ・スキー・スノーボード教室(H28は積雪量不足のため中止) ・子どもを対象としたスポーツ教室の開催(H28は随上) 				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	200,414	式典等記念品、事業協力者謝礼	543,404
11.需用費	129,329	大会案内、プログラム等作成	99,730
14.使用料及び賃借料	0	スキー・スノーボード教室バス借り上げ	0
合計	329,743		643,134
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
	県支出金		
	地方債		
	その他	98,000	社会体育事業参加料
一般財源	231,743		643,134
合計	329,743		643,134
国庫支出金を除いた比率		100.00%	

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
8.報償費	式典等記念品、事業協力者謝礼	444,318	438,127	543,404	200,414
11.需用費	大会案内、プログラム作成	130,879	130,399	99,730	129,329
14.使用料及び賃借料	自動車借上料	267,750	275,400	0	0
事業費計		842,947	843,926	643,134	329,743
【4】正規職員人件費		1,680,000	4,796,000	4,326,903	4,797,980
【5】臨時職員人件費		0	0	0	33,800
【6】総合計		2,522,947	5,639,926	4,970,037	5,161,523
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	0
	源 [10]その他			0	98,000
【11】一般財源		2,522,947	5,639,926	4,970,037	5,063,523
【12】合計		2,522,947	5,639,926	4,970,037	5,161,523
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
実施事業数	回	6	7	8	7
<変化の理由> スキー・スノーボード教室が積雪不足で中止となったため、昨年度より減少した。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
参加人数	人	768	767	820	903
<変化の理由> スポレク大会などにおいて、小学生の積極的な参加があり増加した。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	開始してから10年以上経過している事業もあり、重要事項の一部が現在の状況にそぐわないものがある。		
今後の方向性、見直し等	参加者からの意見を取り入れ、内容を現状に合ったものにする		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
参加人数	3,285	7,353	6,061	5,716
<変化の理由及びそれへの対応策> 団体スポーツで参加が減っていることから上昇している。個人が参加しやすい内容を検討していく。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	現在の開催要項では参加する意思はあっても参加できないチーム等があり、多くの方が参加しやすいよう要項改正の声があがっている。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	ノルディックウォークなど健康志向のイベントを開催している市町が増加している。
【3】代替サービスの有無	主管団体を体育協会所属団体、スポーツ推進委員会に依頼している。

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	団体スポーツの開催では、年々参加者が減少傾向にあり、新たなスポーツや志向に合わせた内容に変化を持たせることも良いと考える。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	市民のスポーツ振興・健康増進に必要な事業であるが、時代の変化により、市民ニーズを的確に把握し、その時代に合った事業を展開する必要があり、見直しが必要と思われる。また、各種スポーツ団体に事業実施を委ねる等、事業推進の工夫も必要と思われる。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	2次評価のとおりとする。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	社会体育事業(生野)	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10 - 06 - 01 - 006 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	評価
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	(1)市民(生野地区)の健康増進を図るとともに、住民との一体的事業により若者から高齢者まで幅広い参加を促し交流を推進する。 (2)各区対抗スポーツ大会をスポーツ推進員、各区体育委員とともに開催し、地域・世代間等の交流と健康増進を図る。			
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位 人
事業の実施内容等	以下のスポーツ活動を実施する。 (1)生野地区グラウンド・ゴルフ大会(5/28) (2)生野地区ソフトボール大会(5/22) (3)生野地区女子バレーボール大会(7/3) (4)生野地区卓球大会(11/27)			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	23,880	イベント参加謝礼	21,312
11.需用費	43,916	消耗品、食糧費	54,296
12.役務費	0	手数料	4,374
合計	67,796		79,982
財源内訳	特定財源	国庫支出金	
		県支出金	
		地方債	
		その他	34,000
		一般財源	33,796
合計	67,796	社会体育事業参加料	54,000
			25,982
			79,982
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
8.報償費	イベント参加謝礼	21,465	20,600	21,312	23,880
11.需用費	消耗品、食糧費	65,680	55,960	54,296	43,916
12.役務費	手数料	6,299	6,318	4,374	0
事業費計		93,444	82,878	79,982	67,796
【4】正規職員人件費		813,000	853,000	2,978,000	1,989,830
【5】臨時職員人件費					9,100
【6】総合計		906,444	935,878	3,057,982	2,066,726
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他			54,000	34,000
	【11】一般財源	906,444	935,878	3,003,982	2,032,726
【12】合計	906,444	935,878	3,057,982	2,066,726	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
大会開催数	回	3	4	4	4
<変化の理由> 平成25年度においては5月11日開催予定であったグラウンドゴルフ大会が雨天の為、中止となった。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
大会参加 チーム数	チーム	68	68	62	66
<変化の理由> 各大会とも減少傾向にあるがグラウンドゴルフ大会においては増減の変動が大きい。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	各地区の交流の興味があるが少子高齢化により、参加が難しくなっている。		
今後の方向性、見直し等	要領等を変更し参加しやすい大会にする。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
大会参加 チーム数	13,330	13,763	49,322	31,314
<変化の理由及びそれへの対応策> H27年度は担当した職員の件数による影響が大きい。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	事前に各種目の代表者会議を実施し、町民の意見を吸い上げている。町民も各区対抗で積極的に参加いただき、チームの人数が各区で合わない場合は、他地区から補填するなど交流がはかれている。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	市内でも種目数が多くサービスは手厚い。しかし、将来もますます高齢者が多くなることが想定される生野地区では交流事業でもある体育事業は必要である。
【3】代替サービスの有無	グラウンドゴルフ(天竺)については、老人クラブ・自治協・各地区などで実施されている。しかし、将来的なことも見据え、多世代が楽しむことのできるグラウンドゴルフについては、公民館も含めたどの団体も人員不足のなかで、互いに協力しあって実施することが望ましいと考える。

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡大	・現状の事業を継続して実施する。 ・生野地区は高齢化率が高く、健康増進のため・娯楽施設が少ない・交通機関が充実していない・交流の場の減少ということを補填する意義からも社会体育事業を継続していく必要がある。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	しかし、支所職員が減少し、かつ町内店舗(事業所)に従事する町民も減り、地域の次世代を若手で担っていくのみが構築しにくい。自治協議会員の意識の醸成も含めて、地域と生涯学習センターで事業推進すべきである。
B 事業内容等の適切さ	1	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡大	市民のスポーツ振興・健康増進に必要な事業であるが、時代の変化により、市民ニーズを的確に把握し、その時代に合った事業を展開する必要がある、見直しが必要と思われる。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	また、各種スポーツ団体に事業実施を委ねる等、事業推進の工夫も必要と思われる。
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡大	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡大	2次評価のとおりとし、内容の検討を行うこと。
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	社会体育事業(和田山)	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10 - 06 - 01 - 007 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ《社会減抑制》		事業開始年度	評価区分	評価
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	ソフトボール大会予選会の実施により、ソフトボールを通して市民が心身を健全に保ち、明るく豊かな生活を推進すると共に地域社会の交流を深める。				
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位	人
事業の実施内容等	朝来市ソフトボール大会和田山地区予選大会を開催し、12チームが参加した。				

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
1.報酬	14,597	優勝・準優勝チーム用 盾	13,182
11.需用費	35,550	ボール・賞状等消耗品	16,312
合計	50,147		29,494
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他	13,000	社会体育事業参加料
一般財源	37,147		17,494
合計	50,147		29,494
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
1.報酬	優勝・準優勝チーム用 盾	11,370	13,292	13,182	14,597
11.需用費	ボール・賞状等消耗品	41,450	49,000	16,312	35,550
事業費計		52,820	62,292	29,494	50,147
[4]正規職員人件費		441,000	277,000	301,000	190,800
[5]臨時職員人件費		54,000	268,000	26,000	18,200
[6]総合計		547,820	607,292	356,494	259,147
特 [7]国庫支出金				0	0
定 [8]県支出金				0	0
財 [9]地方債				0	0
源 [10]その他		12,000	11,000	12,000	13,000
内 [11]一般財源		535,820	596,292	344,494	246,147
訳 [12]合 計		547,820	607,292	356,494	259,147
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
大会開催数	回	1	1	1	1
<変化の理由> 天候に左右される事業ではあるが、毎年好天の下で滞りなく実施できた。市の大会の予選会という位置づけで実施しており、また各区や和田山地域全体の交流の場となっている。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
ソフトボール(和田山地区大会)参加チーム数	チーム	12	11	12	13
<変化の理由> 年度により増減が見受けられるが、ほぼ横ばいである。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	参加チームの固定化が見られるようになってきている。		
今後の方向性、見直し等	できるだけ多くの和田山地域の住民の交流が図られるようなスポーツの実施も検討していくことが必要である。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
ソフトボール(和田山地区大会)参加チーム数	45,652	55,208	29,708	19,934
≪変化の理由及びそれへの対応策≫ 大会運営に必要な石灰、救急セット代など消耗品は一定であることから、参加チーム数によって金額が増減することはやむを得ないと考えられる。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見(アンケートなど)	代表者会を開催し、参加団体の意見を把握している。区民の交流の場となっており継続を希望する。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	和田山はソフトボール大会だけを実施している。ソフトボール大会としては同程度であるが、ほかの社会体育種目を実施しておらず、やや低いといえる。ただし、市民のスポーツ団体は多くあり、種々の大会をそれぞれで開催されており、その活動を支援するという点では水準は同程度といえる。
【3】代替サービスの有無	市内のスポーツ団体による種々の大会が企画され、実施されている。

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	市決勝大会の予選会の位置づけであり今後も継続していくが、地域の交流を図ることも目的であり、また、各公民館での参加チーム数に差があり予選会という位置づけに無理が生じてきている。参加チームの固定化も見られるようになってきているため、できるだけ多くの和田山地域の住民の交流が図られるようなスポーツの実施も検討していく必要がある。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	地域のスポーツ振興・健康増進に係る事業であり、身近な市民の交流の場としても継続実施していく必要がある。また、時代の変化により、事業内容も今後検討していく必要があると思われる。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	2次評価のとおりとする。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	社会体育事業(山東)	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10 - 06 - 01 - 008 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ《社会減抑制》		事業開始年度	評価区分	評価
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民が気軽にスポーツに参加し、スポーツを通じた交流ができるように各種スポーツ大会、教室を実施する。				
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位	人
事業の実施内容等	山東地区におけるスポーツ大会の開催 ・ソフトボール大会(朝来市民ソフトボール山東地区予選:5月) ・元旦マラソン大会(1月)				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)	
1.報酬	37,097	報償費	20,736	
11.需用費	64,769	消耗品・食糧費	68,828	
合計	101,866		89,564	
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	5,000	参加料	5,000
	一般財源	96,866		84,564
合計	101,866		89,564	
国庫支出金を除いた比率		100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
1.報酬	報償費	50,733	39,966	20,736	37,097
11.需用費	消耗品・食糧費	75,800	75,257	68,828	64,769
事業費計		126,533	115,223	89,564	101,866
【4】正規職員人件費		767,832	2,457,998	1,631,930	290,250
【5】臨時職員人件費					
【6】総合計		894,365	2,573,221	1,721,494	392,116
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	0
	源 [10]その他			5,000	5,000
	[11]一般財源	894,365	2,573,221	1,716,494	387,116
[12]合計	894,365	2,573,221	1,721,494	392,116	
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
大会開催数	回	2	1	2	2
<変化の理由> 平成26年度は悪天候のため元旦マラソンは中止。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
市民ソフトボール大会(山東地区)参加チーム数	チーム	7	5	5	5
元旦マラソン参加者数	人	192	0	156	185
<変化の理由> 市民ソフトボール大会の参加チーム数は毎年横ばいである。 元旦マラソンは個人単位での申込みである(25年度192人、26年度0人、27年度156人、28年度185人)。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	少子高齢化の影響もあって、参加者の減少は今後は缺くと考えられる。		
今後の方向性、見直し等	状況を鑑みて改善見直しを行っていく必要があると考える。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
市民ソフトボール大会(山東地区)参加チーム数	127,766	514,644	344,299	78,423
<変化の理由及びそれへの対応策> 市民ソフトボール大会、元旦マラソン共に多くの市民に参加していただけるよう、広報等で周知を図る。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	代表者による抽選会で、意見を聴取。もう少し参加チームが増えることを希望する。 地区予選と決勝大会のルールを同じにしてほしい。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	同程度
【3】代替サービスの有無	山東地域では代替サービスは無い。

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	スポーツを通して地区内の住民が親交を深めることや健康増進が目的であり、一定の効果は期待できる。 しかし、交流、健康増進の方法については近年多様化し、また、少子高齢化の影響もあって、参加者の減少は今後も続くと考えられる。しばらくの間は継続が望ましいが、状況を鑑みて改善見直しを行っていく必要があると考える。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
C 市民ニーズの把握	2	廃止	

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	地域のスポーツ振興・健康増進に係る事業であり、身近な市民の交流の場としても継続実施していくことが必要であり、地域自治協議会等との連携も必要である。 また、時代の変化により、事業内容も今後検討していく必要があると思われる。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2	休止	
C 市民ニーズの把握	2	廃止	

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	内容の検討を行うこと。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	社会体育事業(朝来)	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10 - 06 - 01 - 009 - 01		
款: 教育費	項: 社会教育費	目: 公民館費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)		事業開始年度	評価区分	評価
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民(朝来地区)の健康増進を目的としたスポーツ活動の促進				
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位	人
事業の実施内容等	朝来地域において市民の健康増進・コミュニケーションの場としてスポーツ大会を実施する。 ・朝来地区ソフトボール大会(5月開催) ・朝来バレーボール大会(春季) ・朝来バレーボール大会(秋期)				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)	
11.需用費	25,620	消耗品費	40,454	
12.役務費	7,128	新聞折込手数料	7,128	
合計	32,748		47,582	
財源内訳	特定国庫支出金			
	特定県支出金			
	特定地方債			
	特定その他	17,000	参加料	21,000
	一般財源	15,748		26,582
合計	32,748		47,582	
国庫支出金を除いた比率	100.00%			

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
11.需用費	消耗品費	79,231	54,517	40,454	25,620
12.役務費	手数料	7,275	4,784	7,128	7,128
事業費計		86,506	59,301	47,582	32,748
【4】正規職員人件費		837,000	745,000	223,000	289,050
【5】臨時職員人件費		536,000			6,500
【6】総合計		1,459,506	804,301	270,582	328,298
財源内訳	特 定 財 源			0	0
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他	18,000	22,000	21,000	17,000
	【11】一般財源	1,441,506	782,301	249,582	311,298
【12】合 計	1,459,506	804,301	270,582	328,298	
【13】国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
大会開催数(朝来地区大会)	回	3	3	3	3
《変化の理由》					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
大会参加チーム数(朝来地区大会)	チーム	17	18	17	14
《変化の理由》					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	参加チームの固定化が見られるようになってきている。		
今後の方向性、見直し等	できるだけ多くの朝来地域の住民の交流が図られるようなスポーツの実施も検討していく必要がある。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
大会参加チーム数(朝来地区大会)	85,853	44,683	15,917	23,450
≪変化の理由及びそれへの対応策≫ 平成25年度以降の変化については、バレーボール大会が春と秋の2回開催となった事によるものと人件費によるもの。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	大会前に代表者会議を実施
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	同程度
【3】代替サービスの有無	無

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	各大会については、市の全体大会への予選会及び他市町・地域との交流の場としての意味合いもあり、今後も継続。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	地域のスポーツ振興・健康増進に係る事業であり、身近な市民の交流の場としても継続実施していくことが必要であり、地域自治協議会等との連携も必要である。また、時代の変化により、事業内容も今後検討していく必要があると思われる。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	内容の検討を行うこと。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	体育施設整備事業	担当部課	市民文化部生涯学習課
予算コード	10-06-02-300-01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 体育施設管理費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)		事業開始年度	評価区分	評価
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	3.施設等整備事業
事業の目的	市民のスポーツ振興と健康増進、心身ともに心豊かな生活を営むスポーツ施設の適正な管理、利用者が安心して利用できる施設の整備に努める。				
事業の受益者(対象者)	市民	受益者数(対象者数)	31,271	単位	人
事業の実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・和山体育センター天井等落下防止対策工事 ・簡江農村広場バドミントンコート修繕工事 ・エスポワ北側法面地滑り修繕工事 ・奥銀谷体育館縦柱・横柱修繕工事 ・和山体育センター バレー床金具改修工事 ・西土田 東屋修繕工事 ・農業者トレーニングセンター解体工事 ・旧与布土小学校縦横点検動力電源工事 ・スポーツ公園PRサイン強替 ・農業者トレーニングセンター災害時避難所看板移設 ・和山屋内ゲートボール場周辺環境整備工事 				

2. 事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成28決算(円)		説明等	前年度決算(円)
		13委託料	15工事費		
		1,944,000		設計管理委託料、施設点検委託料	1,074,600
		94,914,425		工事請負費	0
	合計	96,858,425			1,074,600
財源内訳	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	96,858,425			1,074,600
	合計	96,858,425			1,074,600
	国庫支出金を除いた比率	100.00%			

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
11.需用費	社会体育施設修繕	3,480,750	0	0	0
13.委託料	設計管理委託料、施設点検委託料	0	7,918,560	1,074,600	1,944,000
15.工事費	工事請負費	0	5,801,760	0	94,914,425
18.備品購入費	備品購入費	129,800	0	0	0
事業費計		3,610,550	13,720,320	1,074,600	96,858,425
【4】正規職員人件費		813,000	1,593,000	1,954,597	5,020,015
【5】臨時職員人件費		0	0	25,963	206,700
【6】総合計		4,423,550	15,313,320	3,055,160	102,085,140
財源内訳	特 定 財 源	【7】国庫支出金			0
		【8】県支出金			0
		【9】地方債	1,500,000		0
		【10】その他			0
	一般財源	【11】一般財源	4,423,550	13,813,320	3,055,160
	【12】合 計	4,423,550	15,313,320	3,055,160	102,085,140
	【13】国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
工事等を行った回数	回	6	4	1	11
<変化の理由> 前年度より大幅に増加している。施設利用者の安全面及び利便性向上に配慮をした工事が重なったことが理由である。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
体育施設利用件数	件	5,415	5,360	4,921	5,158
<変化の理由> 年々減少傾向にある。原因は人口減少及び利用者の高齢化だと考えられる。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	各施設の老朽化が目立ってきている。		
今後の方向性、見直し等	計画的に改修工事を行い施設の長寿命化を図る。		

6. 成果単位あたり金額(円)

[1]単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
体育施設利用件数	817	2,857	621	19,792

《変化の理由及びそれへの対応策》
 体育施設利用件数の変化が事業費の変化と比較すると緩やかなため、成果単位当たりの金額は事業費の多少に影響されている。定期的な施設点検を行い、安全管理のため早期に修繕が必要な箇所については修繕を優先的に実施していくとともに、体育館等は避難所にも指定されていることから必要なものは改修をしていく必要がある。老朽化にともない修繕が必要な箇所も増えているので、費用対効果を考慮し、今後も計画的に修繕を実施していく。

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	農業者トレーニングセンターの解体に伴い、今後、社会体育施設数が減ることから、施設の利用申込み方法を見直し、特定団体の独占的な利用にならないよう調整を図る必要がある。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	養父市では1時間又は30分単位で使用料を設けており、短時間だけでも使用しやすいようになっている。
【3】代替サービスの有無	なし

B. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	体育館など建築から30年余りを経過する施設が増え、老朽化が顕著となる中、優先度をつけた計画的な修繕、改修が必要となっている。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	各種施設とも老朽化が進んでいる中、市民のスポーツの推進・健康増進に寄与するために、継続実施が必要である。また、スポーツ施設ではあるものの、避難所としての位置づけもあり、市民の安全確保のため、緊急性の高いものから、計画的に継続実施する必要がある。
A 事業実施の必要性	3	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	3	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	公共施設再配置計画に合わせ、今後の方向性を検討すること。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	